

# 羽柄／合板CADにパネル化機能追加

## 木拾い、組立図を自動作成

### ネットイーグルの「XF15」

ネットイーグル（福岡市、祖父江久好社長）は非住宅中大型木造建築向けのプレカットCAD「XF15」の羽柄／合板CADで、壁、床、屋根の任意の範囲でパネルの設計、部材の拾い出し、組立図の作成ができる機能を追加した。通常のプレカットとパネル化の混在設計も可能。非住宅中大型木造建築で、羽柄、合板のプレカットとパネル化による合理化を同時に実現できるシステムとして拡販を図る。

羽柄／合板CADで羽柄材と合板を割り付け、パネル化した範囲を指定すると、指定した範囲で部材の拾い出し、組立図の作成が自動でできる。

中大規模建築向けのXF15は入力できる材本数の制限がなく、5桁などの大きなグリッドや斜め、円弧、多角形などの住宅向けのプレカ

材と羽柄材、合板が一体的に入力できるため、通常と異なるグリッドも図面どおりの収まり、番付で機械加工できる。伏図だけでなく、任意の断面図からも入力（断面図入力機能）でき、複雑な収まりも部材の干渉に配慮しながら入力できる。

昨年8月に開発した羽柄／合板CADは、正確な木拾い、板取り積算が可能で、使用量の多い非住宅中大型木造建築の羽柄材、合板のプレカットが大幅に合理化できる。今回、パネル化にも対応したことで、プレカット加工だけでなく、施工までの合理化が一気に進められるようになる。

住宅業界では、職人不足を背景に現場作業を省力化できるパネル化の取り組みが広がっている。職人不足は非住宅中大型建築も同様で、羽柄、合板のプレカット化とともに、パネル化のニーズも高まると予想される。

同社ではCADによるパネル部材の拾い出し、組立図の作成だけでなく、間違いのないパネル製作や現場施工ができるようCG3次元パースで立体表現し、視覚的にも理解でき、図面に不慣れな外国人でも検品やパネル製作、現場施工を効率化できる。

CGパースは全体パース、パネルだけのパースで360度どの角度からも回して見ることができ、CGパース上でパネル番号も確認できる。パースは「ペーパーレス・ネットワーク・パースシステム」や、「クラウドパースチェッカー」を活用すれば、タブレットなどで誰でも自由に閲覧できる。

壁パネルの入力画面

